

バングラデシュの投資・市場環境と 南アジア地域協力連合（SAARC）の 利用可能性

平成27年3月

日本機械輸出組合

はしがき

平成 26 年度のエマージング市場委員会では、近年高い経済成長を続けるバングラデシュの投資・市場環境、および日系企業による南アジア地域協力連合（South Asian Association for Regional Cooperation：SAARC）の利用可能性について検討を行うため、株式会社 大和総研に調査を委託し、本報告書に取りまとめた。

近年、バングラデシュは、実質 GDP 成長率で年間 6% 台の経済成長を続けており、海外からの直接投資が増加する中、今後も繊維産業等を中心に自動車・機械製品など製造業の発展が見込まれる。また、同国は約 1 億 6 千万人の人口を擁することから、経済発展とともに国内消費市場の拡大が期待される。さらに、同国はミャンマー、インドと国境を接していることから、広域アジアの経済発展とともに、ミャンマーからインドをまたぐサプライチェーン構築の可能性が注目される。そして同国は、南アジアの多国間協力の枠組みである南アジア地域協力連合（SAARC）の原加盟国であり、SAARC の経済統合の見通しとともに域内自由貿易圏の形成動向を踏まえながら、日系企業にとって SAARC の利用可能性を検討することは有意義と思われる。

そこで、この度の調査では、バングラデシュの政府投資機関や商業施設、現地日系企業、日本政府関係機関等を訪問してヒアリングを行い、同国の政治体制、社会情勢、経済状況等をはじめ、日系企業が同国に進出するにあたっての投資・市場環境、インフラ・物流事情とインフラ関連事業、白物家電・テレビ市場と日系企業の事業戦略、日系企業にとっての SAARC の利用可能性について考察した。

本報告書では、バングラデシュの投資・市場環境および SAARC の利用可能性について、以下の視点から調査・分析を行った。

(1) バングラデシュの投資・市場環境

政治・社会情勢、経済概況、産業・貿易動向、投資環境、日系企業の進出動向等

(2) インフラ整備プロジェクト

インフラ整備計画、PPP の現状、日本からの支援

(3) 白物家電・テレビ市場

市場の概要、製品の特性、優良地場企業 Walton 社、日系企業の事業戦略

(4) 南アジア地域協力連合（SAARC）の利用可能性

SAARC の枠組み・現況・経済統合の見通し、関税・準関税障壁、ベンガル湾多分野技術経済協力構想（BIMSTEC）、SAARC の現状を踏まえた企業展開可能性

(5) 当調査を踏まえた提言

インフラ整備プロジェクト、白物家電・テレビ市場、SAARC の利用可能性

本報告書が、組合員各位の業務の一助となれば幸甚である。

平成 27 年 3 月

日本機械輸出組合
エマージング市場委員会
委員長 奥住 直明

< 目次 >

要旨	1
1. バングラデシュの投資・市場環境	1
2. インフラ整備プロジェクト	2
3. 白物家電・テレビ市場	4
4. 南アジア地域協力連合（SAARC）の利用可能性	6
第1章 バングラデシュの投資・市場環境	9
1. 概要	9
(1) 基礎情報	10
(2) 歴史	12
(3) 政治体制・社会情勢	14
2. 経済	17
(1) 経済概況	17
(2) 産業構造	18
(3) 就業構造	19
(4) 消費者物価・為替レート	19
(5) 貿易	21
(6) 海外直接投資	26
(7) 海外送金	27
3. 投資環境	29
(1) 投資促進機関	29
(2) 税制	31
(3) 経済特区・工業団地	31
(4) 用地取得	33
(5) インフラ事情	34
(6) 物流事情	38
(7) 為替管理	42
(8) 人事・雇用	44
(9) 投資協定、租税条約、自由貿易協定（FTA）等	46
4. 現地法人設立のフロー	48
5. 近年の日系企業の進出動向	50
第2章 インフラ整備プロジェクト	53
1. インフラ整備計画	53
(1) 電力	54
(2) 道路	58
(3) 都市交通	59
2. PPPの現状	61
(1) PPPに注目する背景	61

(2)	ガイドライン整備の状況	62
(3)	Viability Gap Financing (VGF)	66
(4)	民間提案案件 (Unsolicited Proposal)	69
3 .	日本からの支援	70
(1)	BIG-B (ベンガル湾産業成長地帯構想)	70
(2)	国別援助方針	71
(3)	ダッカ MRT6 号線	72
(4)	カチプール・メグナ・グムティ 3 橋	74
(5)	マタバリ火力発電	75
(6)	経済特区 (EZ) 開発	76
(7)	円借款による PPP 支援の枠組み	76
(8)	諸外国からの支援	78
第 3 章	白物家電・テレビ市場	80
1 .	市場の概要 (シェア、流通構造)	80
(1)	家電普及率、家電の市場規模	80
(2)	店舗の状況	81
(3)	販売代理店	82
(4)	生産国	83
(5)	シェア	84
2 .	製品の特性	87
(1)	価格	87
(2)	バングラデシュ市場の特性	90
3 .	バングラデシュの優良地場企業「Walton 社」	92
4 .	日系企業の事業戦略	94
(1)	バングラデシュの成長可能性	94
(2)	市場ターゲティング	95
第 4 章	南アジア地域協力連合 (SAARC) の利用可能性	100
1 .	南アジア地域協力連合 (SAARC) 枠組の概要	100
(1)	概要と歴史	100
(2)	EU、AEC との比較	103
2 .	南アジア地域協力連合 (SAARC) 域内の現況	106
(1)	経済バランス	106
(2)	域内関税の撤廃状況	109
(3)	域内における非関税障壁の状況	115
(4)	貿易状況	120
3 .	バングラデシュにおける関税・準関税障壁	125
4 .	南アジア地域協力連合 (SAARC) 経済統合の見通し	127
(1)	南アジア地域経済協力 (SASEC) 枠組によるインフラ整備・貿易促進	127
(2)	関税障壁 (センシティブリスト) 見直し	128

(3)	現在の対話状況	128
5 .	ベンガル湾多分野技術経済協力構想 (BIMSTEC) の枠組	130
(1)	概要	130
(2)	域内の状況	131
(3)	今後の統合見通し	132
6 .	南アジア地域協力連合 (SAARC) の現状を踏まえた企業展開可能性	133
(1)	各国生産におけるメリット・デメリット	134
(2)	インドに拠点がある場合：バングラデシュでも製造すべきか？	134
(3)	インドに拠点がない場合：まずバングラデシュへ進出すべきか？	135
第5章	当調査を踏まえた提言	136
1 .	インフラ整備プロジェクト	136
2 .	白物家電・テレビ市場	138
3 .	南アジア地域協力連合 (SAARC) の利用可能性	140
	〔主要参考文献〕	142